



齊藤勝美 葆光彩磁葡萄文大壺 平成26年(2014) 34.8×30.9cm 個人蔵

柔らかな色、柔らかな形

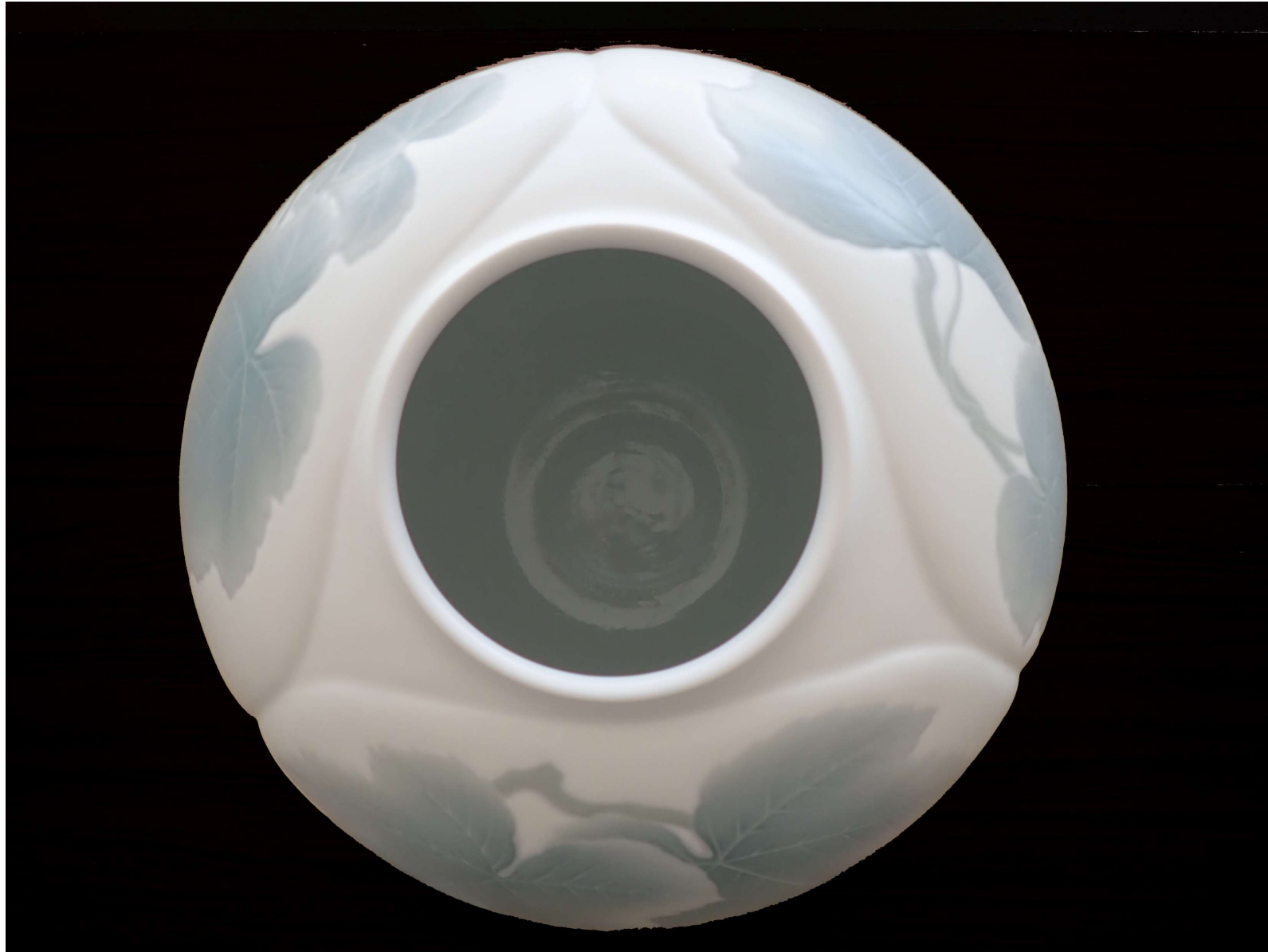
鞠のような、柔らかく充実した形の壺の三方に、葡萄の文様が配置されています。

葡萄の葉の緑は、淡く広い範囲のグラデーションで施されています。3色に塗り分けられた葡萄は、房ごとに微妙に濃さが異なり、遠近の表現に注意が払われています。

艶消して半透明の「葆光釉」は、齊藤が仰ぐ板谷波山の気品を象徴する釉薬です。釉下の色を隠しすぎない理想的な厚みで、ムラなく掛けられています。



齊藤勝美 葆光彩磁葡萄文大壺 個人蔵（別面）



齊藤勝美 葆光彩磁葡萄文大壺 個人蔵（別面）



齊藤勝美 葆光彩磁葡萄文大壺 個人藏 (部分)